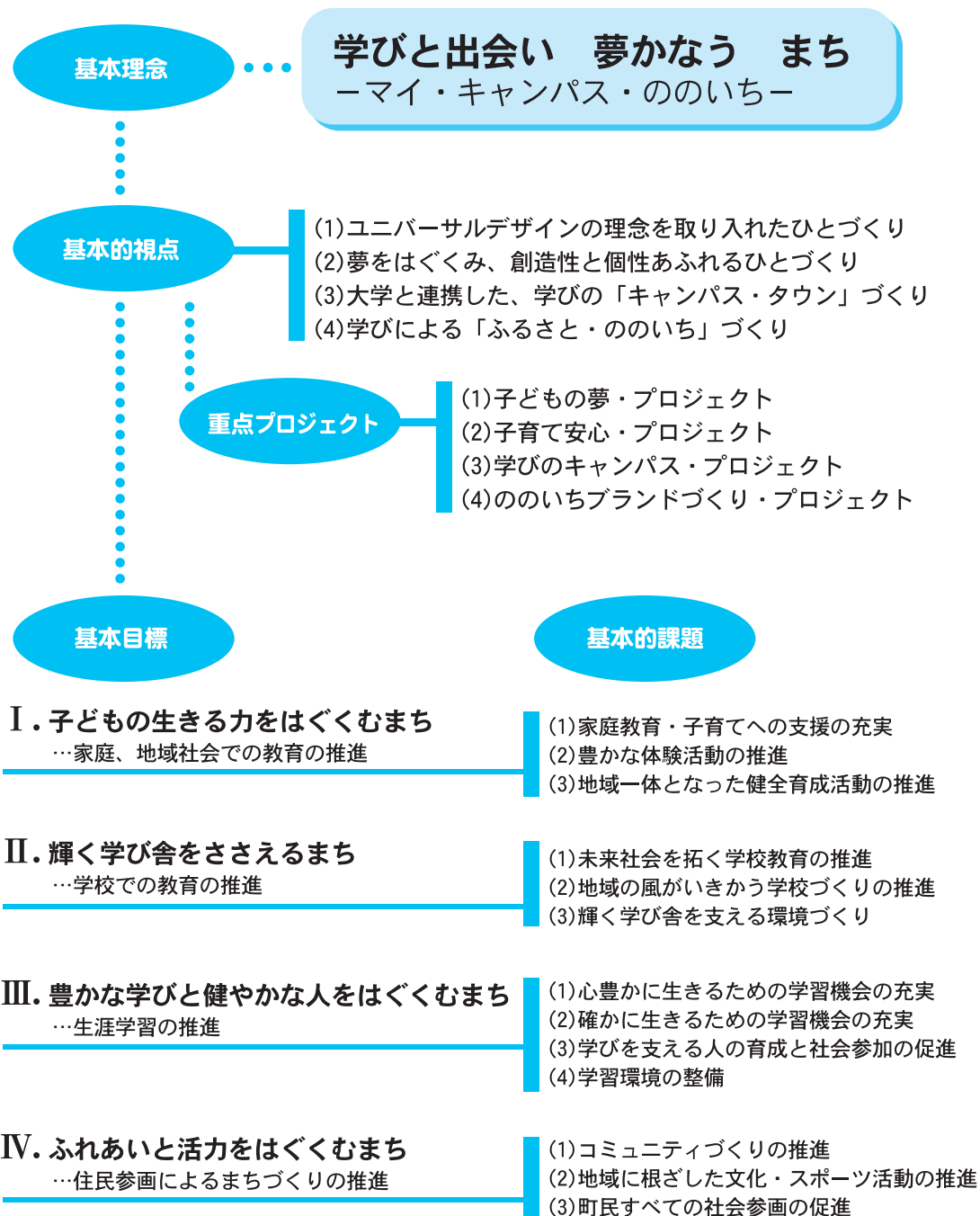




本プランの基本理念である「学びと出会い 夢かなう まち」の実現に向けて、4つの基本的視点を踏まえ、重点的に進める4つのプロジェクトを定めます。さらに、4つの基本目標を定め、13の基本的課題を明らかにします。そして、これらに基づく様々な施策を全庁的な連携と住民との協働を図りながら、総合的に推進します。



1 重点プロジェクトの展開

施策を展開するに当たり、今後の生涯学習と教育によるまちづくりの重点施策・重点事業を明らかにし、重点プロジェクトとして位置付けます。この4つのプロジェクトを実行することにより、「住んでよかった」「住み続けたい」「住んでみたい」「子どもを育ててみたい」快適・文化都市『ののいち"市"』の実現をより積極的かつ戦略的にめざします。

(1) 子どもの夢・プロジェクト

ね ら い

子どもたちは、人とふれあい、文化・芸術、スポーツと出会うことにより、将来の夢や明日への目標を抱きます。また、豊かな学習空間は、子どもたちの基礎学力を培い、たくましく生きる自信をはぐくみます。

そのため、地域社会、学校で豊かな体験活動や学習が行える環境整備を推進し、次代を拓く子どもの可能性と夢が芽生えるまちを実現します。

事業内容と目標

①子ども夢事業の実施

子どもたちの理科離れが危惧されていますが、野々市町内には金沢工業大学、石川県農業短期大学(17年度から4年制に移行)などの高等教育機関が存在することから、そこに集積する「知」や「情報」を子どもたちに広める取り組みを進め、科学やものづくりの分野に挑戦する子どもを育てます。また、将来に夢や希望を抱くよりも現実的な生き方の子どもが多くなっていることから、人の生き方に学びながら子どもが自分の夢をはぐくむ取り組みも重要になっています。

こうしたことから、大学等と連携した「科学体験事業」や第一線で活躍する指導者による「夢をはぐくむ交流事業」を実施します。

- 目標 ●「科学体験事業」をすべての小中学校、公民館で実施します。
●「夢をはぐくむ交流事業」をすべての小中学校で実施します。

②みんながわかる楽しい学校づくりの推進

学校は子どもたちの「学び」の場です。その学力を培うことが学校の最大の責務です。今日、学力の低下が危惧されていることから、子どもたちにわかる授業と学ぶことが楽しい学校づくりが求められています。

こうしたことから、少人数授業・少人数学級を積極的に導入するとともに、大学等と連携して深まりのある先進的な学習ができる学校づくりを進めます。

- 目標 ●すべての小中学校の全学年で、少人数授業を実施します。
●小中学校で少人数学級を段階的に導入します。
●町内大学と姉妹校締結をしたモデル校で、先進的な学習を行います。

③子どもの夢と創造性をはぐくむ学校空間づくりの推進

子どもの夢をはぐくむためには、創造的な学校空間づくりが重要です。地域住民や子どもの参画による特色ある学校づくりは、子どもだけでなく大人の学校への求心力も高めめます。

こうしたことから、校区全体で学校の学習空間としての在り方を考え、魅力ある学校のシンボルとなる空間づくりを進めます。

目標 ●すべての小学校区で「魅力ある学校づくり懇話会」を設立します。

(2)子育て安心・プロジェクト

ね ら い

すべての子どもが健やかに成長することは、地域住民の願いであり、地域社会の責務でもあります。核家族が多く、住民の移動率が高い野々市町においては、家庭教育の充実と子どもの安全確保が、地域社会の重要課題です。

そこで、地域社会全体で子育て家庭を支え、安心して子どもをのびのび育てることのできる地域交流活動や地域指導者の育成を進めていきます。

事業内容と目標

①子どもの居場所づくり事業の実施

社会環境が悪化し、屋外で仲間と遊ぶ子どもたちの減少が危惧されています。子どもたちが放課後や週末に地域の人々と交流しながら、安心して活動したり遊んだりできる居場所づくりが重要になっています。

そのため、地域住民と協力して、小学校の「ふれあいルーム」や社会教育施設を活用した「地域子ども教室」を開催し、放課後や週末における子どもたちの活動の場を広げます。

目標 ●すべての小学校区で「地域こども教室」を開設します。

②子どもの人権を守る地域支援体制の確立

児童虐待や養育放棄など、親の子どもとの関わり方が社会問題化しています。野々市町においても、支援が必要な保護者や子どもが少なくありません。

こうしたことから、積極的に家庭への支援体制を構築し、子どもの人権や学習権を守る取り組みを進めます。子どもを支えるネットワークづくりを進めます。

目標 ●子どもの成長と家庭教育を支援するための教育総合センターを設置します。
●保護者や子どもを支える地域支援員を養成します。

(3) 学びのキャンパス・プロジェクト

ね ら い

町内の大学等との協力体制を確立し、多様な学習機会の提供を図り、住民の学習意欲を高めることにより町全体が、キャンパスとなる生涯学習のまちをめざします。

そこで、町民大学校構想の実現、インターネットを活用した学習体制の確立を図り、いつでもだれでもどこでも学習できる条件を整えます。また、住民自らが、野々市町独自の歴史・文化資源を掘り起こし、「まち」を学ぶことにより、住民の地域社会への帰属意識を高め、地域文化が根づく教育文化都市を実現します。

事業内容と目標

①ののいち町民大学校構想の実現

大学は地域貢献、自治体は地域文化の創造と発信、住民は生きがいと自己実現を求める時代となっています。住民の学習ニーズを的確に把握し、大学と連携したまちづくりを行うことにより、地域の活性化を図ることができます。

そのため、町内及び近隣大学と町民と行政が協力して運営する町民大学校を設立し、多様な学習機会を提供します。また、循環型の生涯学習社会の形成をめざし、修了者が学習成果を地域社会で生かせるシステムも構築します。

- 目標 ●住民アンケートを実施し、住民ニーズと住民組織による大学校の運営を行います。
- 大学校修了者が学ぶ講師養成塾を開設し、生涯学習ボランティアの養成を行います。

②ふるさと意識を高める「ののいち学」の確立

野々市町は古代からの歴史、大地と農業の恵み、交通の要衝など、豊かな地域特性を基礎に繁栄してきました。また、住民の町への帰属意識が希薄な住民が多い反面、強い定住指向を持った住民も多くいます。

そのため、有識者と町民の有志による「ふるさと学検討委員会」を設置し、野々市町を知る学習体系「ののいち学」を確立し、住民に野々市をふるさとと思う心を養います。

- 目標 ●すべての住民が「ののいち学」を学ぶ学習機会を設けます。
- 「ののいち学」副読本など、学習教材を開発します。



コミュニティ・カレッジ(中央公民館)

(4) ののいちブランドづくり・プロジェクト

ね ら い

この町が「住んでよかった」まち「住み続けたい」「住んでみたい」まちとなるよう、まちづくりのブランドとなる事業を企画し、住民の参画を図りながら、町全体の文化レベルの向上をめざします。そこで、地域の特性や文化と最先端の情報通信システムを活用したまちづくり事業を展開して、すべての住民がいいきいと学び、誇りをもてるまちを実現します。

事業内容と目標

①伝統文化・芸能継承活動の推進

野々市町では、これまで野々市じょんから節、地域じょんからなどを継承発展させる取り組みを進めてきました。また、町内会でも地域の祭礼などを見直し、獅子舞などの復活が試みられています。こうしたことから、まちづくりやふるさとおこしの中核に伝統文化・芸能の継承活動を位置付け、住民と行政が一体となって子どもたちに受け継がれるようふるさと教育を進めます。

- 目標 ●各地域で伝統芸能を継承するジュニアクラブを育成します。
●伝統芸能活動をととした地域づくり活動に対する支援を強化します。

②情報通信システムを活用した先端的情報教育とまちづくり活動の推進

野々市町においては、住民サービスの向上をめざした地域情報化実行計画を進めています。また、役場新庁舎に情報交流館を併設して、地域情報化を推進する町としての基盤整備を進めながら、住民の情報活用能力を高めようとしています。そのため、情報交流館では全国に「ののいち」を発信できる取り組みを行い、小中学校においても金沢工業大学などと協力して最先端の情報教育を進めます。

- 目標 ●すべての小中学校で、児童・生徒及び教職員の情報活用能力を高めるため、情報機器と人的配置を整備します。
●情報通信システムを活用したまちづくりの実践組織との全国的なネットワークを構築します。

③美しく心なごむまちづくり運動の展開

自然や地形的な特徴の少ない都市空間である野々市町においては、街並み整備や住民が参画する環境美化活動などが、美しいまちづくり活動にとっては重要です。美しいまちは子どもの情操を豊かなものにし、人の心をなごませ地域での交流を深めます。そのため、地区ごとに住民の参画を図りながら、地域を美しくする活動や花いっぱい運動を促進するとともに、住民による自発的なまちづくり活動も支援します。

- 目標 ●公民館に地域美化活動推進委員会を設け、モデル事業を行います。
●花いっぱい運動を重点地域で実施します。

2 基本的課題と施策の方向

本プランの基本理念である「学びと出会い 夢かなう まち」の実現に向けて、4つの「基本目標」と13の「基本的課題」を掲げ、これに基づく様々な施策を総合的に展開します。

事業区分

- A 既に実施している事業で、今後も継続
- B 既に実施している事業で、さらに拡充
- C 新たに実施する事業で、5年以内に実施予定
- D 新たに実施する事業で、プラン計画期間中に実施検討

基本目標Ⅰ

子どもの生きる力をはぐくむまち

… 家庭・地域社会での教育の推進

基本的課題（1）家庭教育・子育てへの支援の充実

基本的課題（2）豊かな体験活動の推進

基本的課題（3）地域一体となった健全育成活動の推進

基本的課題（1）家庭教育・子育てへの支援の充実

子どもたちの「生きる力」をはぐくむためには、発達段階に応じた家庭での教育が大切です。子どもの発達度合や個性を正しく理解し、愛情をもって受け止めることができる親の成長が望まれます。そのため、子どもの成長時期に対応した家庭教育に関する学習機会の充実や情報提供が必要です。

また、女性の社会進出や核家族化の進行にともなって、子育てに不安を抱いたり負担を感じる親も増えています。過度の学校への依存傾向も、教育の姿を歪めています。このような状況を踏まえ、地域社会全体で家庭教育の在り方を考え、地域ぐるみの子育て支援体制を整備する必要があります。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①子育て学習の 機会の充実	a 保健センター、保育園、小中学校で妊婦教室や家庭教育学級の開催、小学校入学前の就学時健診、中学校入学説明会での子育て講座の開催など、子育て学習を系統的に実施します。	生涯学習課 福祉課 保健環境課	A
	b 10ヶ月児健康相談会場での「ブックスタート」や保育園での親子読書活動などを充実します。	生涯学習課 福祉課	B
	c PTAや子育てサークルや学童保育などの保護者の子育て学習を支援します。	生涯学習課 福祉課	A
	d 保育園、幼稚園と連携して中学生・高校生に保育体験の場を提供します。	生涯学習課 学校教育課 福祉課	C

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
②子育て情報の効果的な提供	a 子育てサービスや母子の健康に関する情報を効果的に提供します。	保健課 福祉課	A
	b 子どもの遊び場や体験活動に関する情報を子どもセンターや子育て支援センターを中心に集約し、効果的に提供します。	生涯学習課 福祉課	B
	c 家庭教育手帳、家庭教育ノートの有効な活用を保護者に働きかけます。	生涯学習課 学校教育課	A
③相談体制の充実	a 保健センター、子育て支援センター、保育園、教育センターで各々行われている子育て相談事業が、連携して行われるよう相談体制の充実を図ります。	保健課 福祉課 学校教育課	A
④家庭教育支援ネットワークの確立	a 子育て支援センターでの子育てサロンやPTAの家庭教育学級をとおして、親同士のつながりを深めます。	福祉課 生涯学習課	B
	b 子育て支援ボランティア、学校支援ボランティアを養成し、家庭教育推進事業や子育て支援事業への参画を図ります。	福祉課 生涯学習課	C
	c 育児サークル、母親クラブ、PTA、PTAOBクラブ、父親クラブなどの活動を支援します。	生涯学習課 福祉課	B
	d 学校と家庭の各々の役割分担を明らかにし、その協力体制を確立するため、行政と学校が連携して家庭への啓発活動を展開します。	生涯学習課 学校教育課	B
	e 家庭教育推進協議会の活動を発展させ、町全体で家庭教育力の向上を図るためのネットワーク化を推進します。	生涯学習課 福祉課	B
	f 庁内において、子育てや家庭教育の支援に関係する機関による連絡会議を定期的に開催し、総合的な推進体制を確立します。	生涯学習課 学校教育課 福祉課 保健課	C
	g 児童虐待防止協議会を中心に民生児童委員と幼稚園、保育園、学校、地域の連絡体制を強化し、児童虐待の早期発見と速やかな解決を図ります。	福祉課 学校教育課	B

基本的課題(2) 豊かな体験活動の推進

少子化の進行とともに家庭に様々な情報機器が普及する中、自然とのふれあいや野外での遊び、親子体験、家事などの生活体験、異年齢交流などの地域や家庭での子どもたちの直接体験が減少しています。

このため、幼年期から少年期にかけての体験活動や少年期から青年期にかけての奉仕体験活動や社会参加活動を充実して、豊かな人間形成を図ります。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①学校外での奉仕・体験活動、スポーツ活動の充実	a 社会教育施設や学校施設での放課後や週末の文化・スポーツ活動に、多くの子どもが参加できるように学習機会を充実します。	生涯学習課 スポーツ振興課 学校教育課	B
	b 地域の伝統行事や子ども会活動を見直し、その活性化を支援します。	生涯学習課 文化課	B
	c スポーツ少年団、ジュニア文化芸術サークル、青少年ボランティア団体を育成します。	スポーツ振興課 生涯学習課	B
	d 地域の指導者や各種施設・学校との連携を強めながら、自然体験や福祉ボランティア体験、奉仕活動の機会を充実します。	生涯学習課 学校教育課 福祉課	B
	e 文化協会や体育協会加盟団体、公民館サークルに対して、小中学生対象事業の開催や小中学生の受け入れを働きかけます。	文化課 スポーツ振興課 生涯学習課	B
	f 国際交流や平和活動を進めるため、青少年の国内外への派遣やその助成を行います。	学校教育課 企画財政課 総務課	A
	g 指導者やボランティアのための学習会を開催し、人材の養成や活動支援を行います。	生涯学習課 スポーツ振興課	C
	h 体験活動に関する総合的な情報センターとして子どもセンターを整備し、ボランティアのネットワーク化と情報の収集・提供、学習相談を充実します。	生涯学習課	B
②親子共同体験活動の充実	a 社会教育施設や児童館で、親子が参加し共感し合える行事や事業を開催します。	生涯学習課 福祉課	A
	b 地域や団体が、学校施設を活用して行う親子共同体験活動を支援します。	生涯学習課	A
	c 町立図書館でのお話し会などをおして、読書の大切さを伝えます。	生涯学習課	B
	d 町立図書館と小中学校が協力して、親子読書活動推進計画を策定します。	生涯学習課 学校教育課	D
③体験や交流ができる施設や遊び場の整備	a 公共施設や学校の広場や公園で子どもたちが楽しく安全に遊べるよう、その運用の見直しや施設の整備を図ります。	生涯学習課 スポーツ振興課 都市計画課	A
	b 地域で子どもたちが自然と親しめるように、施設の改善や体験マップ、環境マップの作成を行います。	生涯学習課 都市計画課 保健環境課	B
	c 児童館の整備や運用の見直しを図り、多くの子どもが集い、異年齢交流ができるよう事業の充実に努めます。	福祉課	B
	d 子どもたちの意見やアイデアを集めるしくみをつくり、それを生かした遊び場・施設づくりを子どもたちの参画を得ながら進めます。	生涯学習課 都市計画課	C

基本的課題(3) 地域一体となった健全育成活動の推進

都市化の進行にともない、青少年を取り巻く社会環境の悪化が懸念されています。商品化された性に関する情報の氾濫、携帯電話を使った犯罪、郊外店やコンビニでの万引きやたむろ、怠学者の増加などの青少年問題が、全町的な課題となっています。

このため、育成団体・学校・家庭・警察・行政が連携・協力を深め、子どもたちの健全な育ちを支援する活動を推進していきます。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①地域社会が連携したまちぐるみ運動の充実	a 愛と和のひと声運動、町内一斉美化清掃の取り組みをとおして、健全育成の気運を高めます。	生涯学習課	A
	b 子どもが参加できる健民運動まちづくり活動を実施し、美しいまちづくりを進めます。	生涯学習課	B
②健全で安全な社会環境づくりの推進	a 交通事故や犯罪を防止し、安全で安心して暮らせる地域を築く事業への町民の参画を進めます。	総務課	B
	b 子どもが通学時の安全を守る取り組みを育成団体の協力体制を確立して進めます。	生涯学習課 学校教育課 総務課	B
	c 少年育成センターの機能を高め、育成指導員の資質向上と適切な街頭活動を進めます。	生涯学習課	B
	d 子どもが直面している育成上の課題を調査・研究し、迅速な対策を講じます。	生涯学習課	B
③育成団体への支援とネットワークの確立	a 育成団体・学校・家庭・警察・行政が「ののいちっ子を育てる」町民会議に結集し、効果的な育成活動を展開します。	生涯学習課	B
	b 育成団体の活動を支援します。活動の交流拠点となる生涯学習支援センターの設置を検討します。	生涯学習課 スポーツ振興課	D
	c 町内各種店舗による連絡会を設置し、学校、警察、行政のネットワークによる取り組みを推進します。	生涯学習課	A
	d 子どもが育成に関わるグループやサークルづくりを促進し、その活動を支援します。	生涯学習課	B



愛と和のひと声運動



町内一斉美化清掃

基本的課題（１）未来社会を拓く学校教育の推進

基本的課題（２）地域の風がいきかう学校づくりの推進

基本的課題（３）輝く学び舎を支える環境づくり

基本的課題（１）未来社会を拓く学校教育の推進

子どもたち一人ひとりが、未来への夢や目標をもって、いきいきと学ぶことができる学校づくりが求められています。そのためには、子どもたちが確かな基礎・基本を培い個々の可能性や創造性を伸ばす環境づくりが必要です。

また、道徳教育や体験活動などを取り入れた学習を充実させて、豊かな人間性をはぐくんでいきます。幼年期から青年期までの一貫した生徒指導や、子どもたちの心の居場所づくり、さらに不登校児童・生徒への支援も充実させていきます。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①生きる力を培う教育の推進	a 学校と家庭、地域とが協力した道徳教育の実践を図ります。	学校教育課	A
	b 学力の基礎、基本となる教科指導の充実を図ります。	学校教育課	B
	c 地域住民の協力を得ながら、自然学習や地域学習を積極的に行います。	学校教育課	B
	d 全小中学校に図書館司書を配置し、心を豊かにする読書活動を推進します。	学校教育課	A
	e 豊かな感性をはぐくむため、芸術や文化に接する機会を充実させます。	学校教育課 文化課	B
	f スポーツや健康や食に関する教育の充実を図ります。また、学校部活動への支援を行います。	学校教育課 スポーツ振興課	B
	g 基本的な生活習慣や身体技法を身に付ける取り組みを家庭と協力して進めます。	学校教育課	B
②現代の課題に対応した教育の推進	a 障害のある子どもの交流教育や養護学校との交流を進めるなど、人権教育をとおして、人にやさしいひとづくりを推進します。	学校教育課	A
	b 姉妹校や友好都市の児童・生徒との交流を深め、国際理解教育を推進します。	学校教育課 企画財政課	A
	c コミュニケーション能力の向上のための教育や英語科教育を充実します。	学校教育課	B
	d 教育情報ネットワークシステムを活用した授業の効果的な実践方法を研究します。	学校教育課 企画財政課	C
	e 実践できる資質を養う環境教育の充実を図ります。	学校教育課 保健福祉課	A
	f 総合的な学習や教科指導をとおして、福祉やボランティア活動に関する意識を高める取り組みを進めます。	学校教育課 福祉課 長寿保険課	B
	g 新しい課題に対する見識や指導技術を高める教員研修を実施します。	学校教育課	C

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
③幼年期から青年期まで一貫した教育の推進	a 幼稚園・保育園から高校までの教職員が連携し、効果的な生徒指導と家庭教育支援を行います。	学校教育課 福祉課	B
	b 授業公開、交流などとおした教員の校種間交流を進めます。	学校教育課	B
	c 小中一貫した校内研究を進め、町独自の課題を明らかにした教育課程が編成できるよう、教員の研修体制等を整備します。	学校教育課	B
④子どもの心の居場所づくりの整備	a 心の教室相談員やスクールカウンセラーの配置や近隣大学生によるメンタルフレンド制度を導入し、子どもの心のケアを充実します。	学校教育課	C
	b 就学適応教室の一層の充実と訪問指導などの不登校や怠学児童生徒への学習支援を進めます。	学校教育課	B
	c 学校内に「地域ふれあいルーム」や「地域子ども教室」を設置し、地域の大人と子どもたちの交流の促進を図ります。	生涯学習課 学校教育課	B

基本的課題(2) 地域の風がいきかう学校づくりの推進

学校で学んだことが、子どもたちにとってより実践的なものとなるためには、学校と家庭と地域の連携が重要です。学校の教育活動や課題を公開し、教室を地域に開放することによって、学校に対する地域や家庭の理解が深っていきます。

三者の強いネットワークは、学校を核とした地域コミュニティづくりとなります。また、特色ある学校づくりに地域や家庭の支援や理解を得るためには、地域の教育資源を最大限に生かすことが重要です。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①特色ある学校づくりの推進	a 学校運営の効率化を進めながら、目標値を明確にした特色ある学校づくりを行います。	学校教育課	C
	b 地域の人材を活用した授業や地域の特色を生かしたカリキュラム編成を積極的に進めます。	学校教育課 生涯学習課	B
②ふるさとづくり教育の推進	a 地域の伝統文化を取り入れた学習を進め、地域への愛着心を高めます。	学校教育課 生涯学習課 文化課	B
	b 子どもたちが学んだ成果を地域に発信するなど、まちづくりへの参画をとおして、地域社会への帰属意識を高めます。	学校教育課	B
	c 地域をフィールドとした学習を展開しながら、町発見などの体験をとおして、自分の住む地域への関心を高めます。	学校教育課 生涯学習課	C

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
④地域、家庭とともに歩む学校づくりの推進	a 学校評議員制度、学校公開、学校から地域への情報発信など、地域に開かれた学校づくりを進めます。	学校教育課	B
	b 特別教室や体育施設の地域住民への開放を進め、学校を地域の生涯学習センターとして活用します。	生涯学習課 スポーツ振興課	B
	c 地域住民が小中学校の授業を受講できる聴講生制度を実施します。	学校教育課 学校教育課 生涯学習課	C
	d 小中学校において、地域住民を対象にした公開講座を開催します。	学校教育課 生涯学習課	C
	e 子どもと地域の人々との交流を深めるために、「地域ふれあいルーム」を校内に設置します。	生涯学習課 学校教育課	B
	f 保護者と学校との協力体制を強化するため、学級懇談会や地区懇談会の充実を図ります。	学校教育課	A
	g 学校と民生児童委員などとの連携を強め、課題をもつ家庭への地域の支援体制を強化します。	学校教育課 福祉課	B
	h 学校と地域や家庭との連携を深めるための教員研修を充実します。	学校教育課	C

基本的課題(3) 輝く学び舎を支える環境づくり

コミュニティが確立している地域において、子どもが学ぶ学校は地域社会の中で輝く存在です。そして、学ぶ子どもは地域社会の宝です。おのずと地域の人々は学校に関心を持ち、惜しみなく協力もします。保護者にとって、「子どもの学校」であると同時に「自分も学べる学校」であれば、一層親近感が持てます。しかし、当町のように住民の移動の激しい地域では、意図的に地域との交流や学校支援ボランティアの活躍の場をつくり出す必要があります。

教員を支える重要な環境の一つは、地域からの信頼と支援です。また、施設の整備も地域の支援や願いがあってこそ充実され、同時に継続的な活用が図られます。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①教員を支える環境づくりの整備	a 教員の指導力の向上や地域理解を深める研修を大学などの協力のもと充実します。	学校教育課 生涯学習課	C
	b 情報教育に関する支援を強化し、情報交流館との連携を図りながら、すべての教員の情報活用能力を高めます。	学校教育課 企画財政課	B
	c 教員の自主研究やサークル研修を支援します。	学校教育課	A
	d 教員と住民や地区公民館との連携を強め、地域住民と協働した教材の開発を進めます。	学校教育課 生涯学習課	B
	e 教員の事務の効率化を図り、子どもと向き合う時間を確保します。	学校教育課	C

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
②豊かな学校生活を支える施設の整備	a 子ども・地域住民・教員の願いや要望を取り入れて、施設の大規模改修や改築を行います。	学校教育課	B
	b 学習効率や子どもの安全性が高まるように、施設改修を計画的に行います。	学校教育課	A
③ボランティアが生きる学校づくりの推進	a 全町で学校を支援するためのボランティアを募集し、各学校で積極的な活用を図ります。	生涯学習課 学校教育課	C
	b ボランティア活動を支援するための、マニュアルづくりや研修会を開催します。	生涯学習課	C
	c 学校内に、学校支援ボランティアの活動拠点を設置します。	学校教育課	C
	d 学校内に、地域連携担当者の配置や地域連携推進委員会を設け、地域社会と学校の連携を強める推進体制を確立します。	学校教育課	B



地域の人と学ぶ1年生



ALT(外国語指導助手)と学ぶ中学生

- 基本的課題（１）心豊かに生きるための学習機会の充実
 基本的課題（２）確かに生きるための学習機会の充実
 基本的課題（３）学びを支える人の育成と社会参加の促進
 基本的課題（４）学習環境の整備

基本的課題（１）心豊かに生きるための学習機会の充実

心の豊かさが求められ、余暇時間も増大している今日、住民の多くが文化や芸術、スポーツ活動の機会を持つことは、魅力あるまちづくりのためにも重要なことです。住民の意識調査からも95%以上の住民が、生涯学習や地域活動への参加意欲をもち、その学習ニーズの高さが明らかになりました。

大人の学びと文化的な質の高さは、まち全体の気風となり、青少年の豊かな情操と創造力やたくましい心や体をはぐくむことに通じます。そのため、地域の特性を生かし、かつ住民の学習ニーズや生活様式に適応した文化・スポーツ施策の充実に努めます。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①いつでもだれでも学習できる機会の充実	a 公民館の事業推進委員を中心に、各地区の特色ある公民館事業を推進します。	生涯学習課	B
	b 公民館の自主的なサークル活動や文化協会の活動への支援を行います。	生涯学習課 文化課	A
	c 文化会館等での優れた芸術・音楽鑑賞の機会を充実します。	文化課	A
	d 町立図書館の蔵書の充実、移動図書館車の運行、公民館等への配本により、幅広い町民の利用を図ります。	生涯学習課	A
	e 町立図書館蔵書検索システム等を活用して、資料提供の充実を図ります。	生涯学習課	B
	f 生涯学習関連施設において、高齢者、女性、青少年対象事業の充実を図ります。	生涯学習課	B
	g 「まちの先生」登録者やインターネット町民塾講師、町民大学校修了者などが講師となる自主講座の開催を支援します。	生涯学習課	B
	h インターネット町民塾の運営によって、いつでも学習できる体制の整備を進めます。	生涯学習課	B
	i 生涯学習関連施設の弾力的運用を図るとともに、公共施設予約案内システムを活用して施設利用の利便性を高めます。	生涯学習課 スポーツ振興課	C
	j ののいちマナビィフェスタの開催など、学習成果の発表機会を設けます。	生涯学習課 文化課	A

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
②健康・スポーツ活動の充実	a 各種スポーツイベント、講習会、教室を体育指導員、体育協会加盟団体との協力のもと開催します。	スポーツ振興課	B
	b 体育協会加盟競技団体への支援と若年層の参加促進を図り、競技力の向上をめざします。	スポーツ振興課	B
	c 体育施設でのスポーツサークルの活動を支援します。	スポーツ振興課	A
	d だれでも参加できるニュースポーツなどの普及を推進し、スポーツ人口の拡大を図ります。	スポーツ振興課 学校教育課	B
	e 高齢者や障害のある人のスポーツ活動への参加を推進します。	スポーツ振興課 福祉課 長寿保険課	B
	f 健康スポーツの安全な普及を図るため、体育施設にスポーツプログラマーなど指導員の配置を進めます。	スポーツ振興課	B
	g 社会体育及び学校体育施設の一般開放を促進し、地域住民に開かれた施設の運用を図ります。	スポーツ振興課 学校教育課	A
	h 体育指導員の自主的活動を促進します。	スポーツ振興課	A
	i スポーツ指導者を対象とする講習会などを開催し、指導者の育成と指導力の向上を図ります。	スポーツ振興課	B
	j 安全な施設運用と管理に努めるとともに、スポーツ団体会員のスポーツ安全保険への加入を促進します。	スポーツ振興課	A

基本的課題(2) 確かに生きるための学習機会の充実

21世紀は共生の時代です。人権、男女共同参画、少子高齢化、高度情報化、環境問題、国際化など、身近な地域社会から地球規模の問題まで、幅広く対応できる人間像が求められています。

このように激動する社会において、人と人が共に生きていくための学習が、教育における重要な課題となっています。特に、成人・高齢者が情報化などにも対応できるような学習機会や若年層の就労のための学習機会の充実を図ります。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①共生社会に対応した学習機会の充実	a 男女共同参画条例及びプランの推進に向けた取り組みの充実を図ります。	生涯学習課 総務課	B
	b 男女共同参画を進める女性団体の育成と支援を行います。	生涯学習課 総務課	A
	c 関係団体の協力のもと、幅広い人権教育や啓発事業を推進します。	生涯学習課 住民課	A
	d 高齢者と子どもの世代間交流を促進する事業を展開します。	生涯学習課 福祉課 長寿保険課	B
	e 外国語講座や留学生などとの交流をとおして、国際理解や異文化交流を進めます。	生涯学習課 企画財政課	A
	f 国際友好団体を支援し、町民各層の国際交流を促進します。	企画財政課	A

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
②高度情報化・環境問題等に対応した学習機会の充実	a 情報活用能力を高めるために、学習のレベルに応じた講座を幅広く開催します。	生涯学習課 企画財政課	B
	b 情報交流館を拠点として、住民の情報通信システムを活用したまちづくり活動を支援します。	生涯学習課 企画財政課	C
	c 環境問題を学習する講座の実施や、学習グループの実践活動への支援を行います。	生涯学習課 保健環境課	B
	d 住民が自主的に環境保全活動を行うための、学習拠点づくりを進めます。	企画財政課 生涯学習課 保健環境課	D
③生活・安全・職業能力に関する学習機会の充実	a 女性センター、情報交流館、シルバー人材センターを中心に、就労や生活の向上に役立つ講座を開催します。	生涯学習課 商工労働課	B
	b 保健センターを中心に、健康に関する講座を開催します。	保健環境課	A
	c 高齢者や子どものための交通安全教室や、地域安全講話を開催します。	総務課 学校教育課	A
	d 生活改善グループ、サークルの自主的活動を支援します。	生涯学習課 保健環境課	A
	e 障害者や高齢者の生活や行動を支えるボランティア活動に関する学習機会を充実します。	福祉課	A
	f 社会福祉ボランティアやグループの活動を支援します。	長寿保険課 福祉課	B
	g ボランティアグループと小中学生の交流を積極的に進めます。	長寿保険課 福祉課 生涯学習課 学校教育課	B

基本的課題(3) 学びを支える人の育成と社会参加の促進

生涯学習環境を充実させるためのまちづくりを進めていくには、指導者や講師をはじめ、あらゆる学習活動を支える人材が重要になります。また、多様な生涯学習の一つとしてボランティア活動が注目されています。こうしたボランティア活動を生かすことができる地域社会づくりを推進していきます。

さらに、生涯学習の推進には、家庭、地域社会、職場で学習活動に積極的に参加し、主体的な学習活動が行われ、学習をとおして自らの生きがいを高めることが重要です。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①生涯学習人材ネットワークの構築	a 生涯学習ボランティアや学校支援ボランティアを育成し、活動の場を提供します。	生涯学習課 学校教育課	C
	b 生涯学習講師リストを作成します。	生涯学習課	C
	c 生涯学習リーダーを養成し、そのための研修会や交流の場を設けます。	生涯学習課	C
	d 青年・大学生ボランティアを積極的に活用します。	生涯学習課	C

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
②住民を主体とした学習活動の促進	a 社会教育団体、公民館サークル、スポーツサークルなどの自主的活動を支援します。	生涯学習課 スポーツ振興課 文化課	A
	b 生涯学習のための新しいグループづくりを支援していきます。	生涯学習課 スポーツ振興課 文化課	B
	c 団体の自主的活動を支えるために、活動の交流の場となる施設の整備を行います。	生涯学習課	B
③学習成果の発表と評価システムの確立	a 生涯学習施設や学校教育施設において、団体やサークルが学習成果を発表できる場を設けるとともに、民間施設にも協力を働きかけます。	生涯学習課 学校教育課	C
	b ののいち町民大学校事業をとおして、個人学習の評価システムの構築を図ります。	生涯学習課	C

基本的課題(4) 学習環境の整備

社会の変化や地域住民の学習ニーズを把握し、さまざまな学習情報を提供していくことが生涯学習を推進する上において重要です。また、高齢者や障害者、小さい子どもを持つ女性などが、学習や活動に参加しやすいように、既存施設の整備や学校施設の地域への開放も重要です。

さらに、今後一層の進展が予想される高度情報化に対応した施設整備を図っていく必要もあります。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①学習情報の収集と提供の充実	a 生涯学習事業の参加者の事業評価に関するアンケート調査を随時行い、地域住民のニーズを把握します。	生涯学習課 スポーツ振興課 文化課	C
	b 町内の生涯学習事業の他、近隣市町村、民間教育施設、学校教育施設などについても広く学習情報を収集します。	生涯学習課 スポーツ振興課 文化課	B
	c 町民が必要とする情報を町広報やFMエヌ・ワンや町ホームページを活用しながら提供し、その内容を充実します。	生涯学習課 総務課	A
	d コミュニティバスを活用した学習イベント情報の提供を進めます。	生涯学習課 都市計画課	C
②学習相談機能の充実	a 生涯学習や生涯学習ボランティア、講師に関する相談窓口を設置します。	生涯学習課	C
	b 地域情報化計画の生涯学習情報提供システムを活用し、双方向による情報提供や学習相談を推進します。	生涯学習課 企画財政課	C

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
③高度情報化社会に対応した学習施設の整備	a 生涯学習関連施設に情報端末を設置し、情報通信システムを活用した学習環境の充実を図ります。	生涯学習課 文化課 スポーツ振興課	B
	b 情報交流館を中心に、生涯学習施設のネットワークを活用した住民参画型の事業を展開します。	生涯学習課 企画財政課	C
	c 新町立図書館の建設に向けた準備を進めます。	生涯学習課	D
	d ケーブルテレビや「えふえむ・エヌ・ワン」の生涯学習事業への活用を進めます。	総務課 生涯学習課	A
④身近な学習施設の充実	a 生涯学習施設のバリアフリー化や託児室などの整備を進めます。	生涯学習課 文化課 スポーツ振興課	C
	b 学校施設が住民の生涯学習活動の場として活用されるよう、施設の改修を行います。	学校教育課	B
	c 町内大学施設が町民に開放されるよう、町内大学に働きかけます。	生涯学習課 企画財政課	D
	d 生涯学習、文化、スポーツ施設の整備を計画的に進めます。	生涯学習課 文化課 スポーツ振興課	D



子どもHPづくり教室（野々市公民館）



マナビィフェスタ(文化会館)

- 基本的課題（1）コミュニティづくりの推進
- 基本的課題（2）地域に根ざした文化・スポーツ活動の推進
- 基本的課題（3）町民すべての社会参画の促進

基本的課題(1) コミュニティづくりの推進

地域住民の積極的な交流と生涯学習への参画によるコミュニティづくりを推進し、まちづくりへの住民参画の気運を高めていきます。また、住民が集い創造的な活動が生まれる場として、学校区や公民館区単位のコミュニティづくりが重要になっています。

そこで、今後、地域、家庭、学校が一体となって、青少年健全育成活動やまちの特徴となるまちづくり活動などを推進していきます。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①まちづくり活動への支援	a 住民の参画のもと、町健民運動推進協議会の運動を展開します。	生涯学習課	A
	b 「生涯学習のつどい」の開催など、生涯学習によるまちづくり先進地に学ぶ機会を設けます。	生涯学習課	A
	c 地区公民館をまちづくりの中心施設に位置づけ、学びによるまちづくり活動や団体交流を促進します。	生涯学習課	B
	d まちづくりに関する団体への支援を行います。	生涯学習課 企画財政課	C
②学校と公民館が一体となった地域活動の推進	a 学校区と公民館区の整合・統一を検討するため、庁内の調整や団体との意見交換を進めます。	生涯学習課	B
	b 保護者と地域住民が協力した、子どもの居場所づくり事業を推進します。	生涯学習課	C
	c 地域全体でふるさとづくりとなる事業を推進し、地域の連帯感を高めます。	生涯学習課	D



立志式（中学2年生）



子どもの居場所づくり（野々市小学校）

基本的課題(2) 地域に根ざした文化・スポーツ活動の推進

地域に残された歴史的文化遺産に子どもから高齢者に至るまで多くの住民が触れ、継承活動に参加することにより、町全体の文化の質が高まります。また、まちの歴史や風土、文化への愛着や誇りをもち、郷土を語るができる人をはぐくみます。

町外出身者が多いこの町においては、住民がまちづくりにかかわる新しい文化・芸術・スポーツ活動に参加しやすい体制づくりが重要です。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①伝統文化の継承と文化活動の推進	a 野々市じょんから節の保存と伝承に努め、広く町民の参加を促す取り組みを行います。	文化課 商工労働課	B
	b 町花木「ののいち棒」の普及、棒をテーマとしたイベントや文化活動や地域物産の開発を進めます。	文化課 都市計画課 商工労働課	A
②文化財の保護と活用の促進	a 文化財を活用した事業を展開して、郷土の先人や歴史への愛着や誇りを持つことができるような学習環境づくりを進めます。	文化課	A
	b 町内に残る昔の話の掘り起こしや子どもたちへの伝承活動を支援します。	文化課 生涯学習課	B
③スポーツ、芸術・文化活動を通じた地域コミュニティの活性化	a ジャズの祭典の開催など、新しい町民文化活動を支援します。	文化課	A
	b スポーツ活動が町民により身近なものとなるよう「総合型地域スポーツクラブ」を設立します。	スポーツ振興課	C
	c 町内大学・民間教育事業者・企業との連携を強化し、スポーツ、芸術・文化活動への若い世代の参画を促進します。	文化課 スポーツ振興課	C



じょんからの里マラソン大会



古代体験事業

基本的課題(3) 町民すべての社会参画の促進

すべての町民が互いの違いや良さを理解し合いながら、地域社会の活動に参画し、まちづくりを進めていくことが重要です。人権教育や男女共同参画、高齢者や障害者の社会参画について、住民相互の理解を深め、その実践力を高めていきます。

施策の方向	事業の概要	担当課	区分
①男女共同参画 社会の推進	a 男女共同参画条例・プランに沿った施策を家庭、地域社会で推進します。	生涯学習課	B
	b 学校教育や社会教育の場で、男女共同参画の理念を取り入れた学習を展開します。	学校教育課 生涯学習課	B
②高齢者、障害者等の社会参画の促進	a 高齢者や障害のある人がいつでもスポーツや文化活動に参加できるように、学習機会や施設の整備に努めます。	生涯学習課 スポーツ振興課 福祉課 長寿保険課	B
	b 社会福祉施設において、地域との交流活動を推進します。	福祉課 長寿保険課	A
	c 成人、青少年のボランティア活動への支援を積極的に行います。	福祉課 生涯学習課	B
	d 高齢者の社会参画を進めるため、学習会やイベントなどの啓発事業を展開します。	長寿保険課 福祉課 生涯学習課	B
③子ども・青年のまちづくりへの参画の促進	a 子ども会、青少年ボランティア団体などの地域活動を支援します。	生涯学習課 福祉課	A
	b 大学生などの青年の自主グループによる地域活動を支援します。	生涯学習課	B
	c 子ども、青年、学生によるまちづくりへの企画・提案の場や実践の場を設けます。	生涯学習課	C
	d 成人式や立志式などの場を活用して、青少年の社会参加活動を促します。	生涯学習課	A



ボランティア探検隊「飛鳥」募金活動



“空と大地” 恵みのコンサート

3 プランの体系

基本理念

学びと出会い

夢かなう まち

- さい・キャンパス・ののいち -

基本的視点

- (1)ユニバーサルデザインの理念を取り入れたひとづくり
- (2)夢をはぐくみ、創造性と個性あふれるひとづくり
- (3)大学と連携した、学びの「キャンパス・タウン」づくり
- (4)学びによる「ふるさと・ののいち」づくり

基本目標

(生涯学習のまち「ののいち」のすがた)

重点プロジェクト

- (1) 子どもの夢・プロジェクト
- (2) 子育て安心・プロジェクト
- (3) 学びのキャンパス・プロジェクト
- (4) ののいちブランドづくり・プロジェクト

子ども夢事業の実施
みんながわかる楽しい学校づくりの推進
子どもの夢と創造性をはぐくむ学校空間づくりの推進
子どもの居場所づくり事業の実施
子どもの人権を守る地域支援体制の確立
ののいち町民大学校構想の実現
ふるさと意識を高める「ののいち学」の確立
伝統文化・芸能継承活動の推進
情報・通信システムを活用した先端的情報教育とまちづくり活動の推進
美しく心なごむまちづくり運動の展開

子どもの生きる力をはぐくむまち

…家庭、地域社会での教育の推進

- (1) 家庭教育・子育てへの支援の充実
- (2) 豊かな体験活動の推進
- (3) 地域一体となった健全育成活動の推進

子育て学習の機会の充実
子育て情報の効果的な提供
相談体制の充実
家庭教育支援ネットワークの確立
地域社会が連携したまちづくり運動の充実
健全で安全な社会環境づくりの推進
育成団体への支援とネットワークの確立

学校外での奉仕・体験活動、スポーツ活動の充実
親子共同体験活動の充実
体験や交流ができる施設や遊び場の整備

輝く学び舎をささえるまち

…学校での教育の推進

- (1) 未来社会を拓く学校教育の推進
- (2) 地域の風がいきかう学校づくりの推進
- (3) 輝く学び舎を支える環境づくり

特色ある学校づくりの推進
ふるさとづくり教育の推進
地域、家庭とともに歩む学校づくりの推進

生きる力を培う教育の推進
現代の課題に対応した教育の推進
幼年期から青年期まで一貫した教育の推進
子どもの心の居場所づくりの整備
教職員を支える環境づくりの整備
豊かな学校生活を支える施設の整備
ボランティアが活躍する学校づくりの推進

豊かな学びと健やかな人をはぐくむまち

…生涯学習の推進

- (1) 心豊かに生きるための学習機会の充実
- (2) 確かに生きるための学習機会の充実
- (3) 学びを支える人の育成と社会参加の促進
- (4) 学習環境の整備

いつでもだれでも学習できる機会の充実
健康・スポーツ活動の充実
生涯学習人材ネットワークの構築
住民を主体とした学習活動の促進
学習成果の発表と評価システムの確立

共生社会に対応した学習機会の充実
高度情報化・環境問題等に対応した学習機会の充実
生活・安全・職業能力に関する学習機会の充実
学習情報の収集と提供の充実
学習相談機能の充実
高度情報化社会に対応した学習施設の整備
身近な学習施設の充実

ふれあいと活力をはぐくむまち

…住民参画によるまちづくりの推進

- (1) コミュニティづくりの推進
- (2) 地域に根ざした文化・スポーツ活動の推進
- (3) 町民すべての社会参画の促進

伝統文化の継承と文化活動の推進
文化財の保護と活用の推進
スポーツ、芸術・文化活動を通じた地域コミュニティの活性化

まちづくり活動への支援
学校と公民館が一体となった地域活動の推進
男女共同参画社会の推進
高齢者、障害者等の社会参画の促進
子ども・青年のまちづくりへの参画の促進

基本的課題

施策の方向